数学講究 XB レポート

Keiji Yahata

数学講究 XB レポート Keiji Yahata

1 導入

本レポートでは、Ising モデルを情報幾何学的に調べる。

1次元だと計量は必ず平坦になるので、Levi-Civita 接続から定まる曲率や捩率を使って相転移点を見つけることはできない。

参考文献

数学講究 XB レポート Keiji Yahata